

夢と現実
失望と希望
崖の上に立ち
叫び続ける
化け物のような男

やけにうるさい声が聞こえてくる。

動物の声ではない。

いや・・・ついこういう表現を使ってしまうのは悪い癖だ。

人間も紛れもない動物なのだ。

愛犬のディアスをいつも朝と夜、自宅から3キロ離れたダム近くまで散歩しに連れて行くのだが、いつも夜に行った時に男の叫び声があるのだ。

ディアスは雌犬で現在発情期であるため、いつも散歩の途中で通りかかる家の飼い犬の、ディアスよりも2、3歳年上のラディという雄犬に興奮して鼻息を荒げて近寄っていく。

散歩はダム以外のコースもあったのだが、ラディが大好きなディアスのために最近は専ら同じコースだ。

俺の自宅は谷底の集落。

行政区分では町の範囲に入っているが、村だとしても何一つおかしくないようなそんな辺鄙な場所だ。

ここ最近、近くの山にトンネルが掘られて上に新しい道が通ったため、この集落には更に人影が少なくなった。

さて、いつも夜になると聞こえてくる男の叫び声の正体だが。

体験版はここまでです